

2022 年度 保険者向け WEB セミナー開催のご案内

盛況のうちに終了致しました。たくさんのお申し込みありがとうございました。

プログラム

第1部 座長：那須 繁（日本人間ドック学会 副理事長）

講演①

講師 新 智文 理事 健診施設実態調査委員会委員長 J A 北海道厚生連帯広厚生病院副院長

演題「日本人間ドック学会 2021 年度施設会員実態調査報告」～コロナ禍における人間ドック健診の実情アンケート調査結果から～

講演②

講師 窪寺 健 氏 日本医師会総合政策研究機構 客員研究員 有限会社 ビガー ジャパン CEO

演題「健診標準フォーマットの普及を目指して」

第11回 受けてよかった人間ドック体験記コンクール表彰式（VTR）放映

第2部 座長：内藤 隆志（日本人間ドック健診協会 副理事長）

講演③

講師 武藤 繁貴 理事 健診情報管理指導士育成事業委員会 委員長 聖隷福祉事業団保健事業部 聖隷健康診断センター 所長

演題「人間ドック健診施設における当日特定保健指導・遠隔保健指導の効果」

講演④

講師 佐々木 寛 理事 第63回日本人間ドック学会学術大会長女性のための健診・予防医療のあり方検討委員会 委員長

医療法人徳洲会 千葉徳洲会病院 婦人科部長演題

演題「女性のドックの現状と課題」

2021 年度 保険者向け WEB セミナー開催のご案内

盛況のうちに終了致しました。たくさんのお申し込みありがとうございました。

配信期間

2021 年 12 月 3 日～12 月 24 日

プログラム

講演①

講師 日本病院会 会長／日本人間ドック学会 理事長 相澤 孝夫先生

演題「これからの日本の医療」

講演②

講師 日本人間ドック学会 健診施設機能評価委員会委員長 石坂 裕子先生

演題「健診の質を考えるー人間ドック健診が大切に育ててきたことー」

講演③

講師 株式会社キャンサーズキャン 顧問 竹林 正樹先生

演題「ナッジ理論で受診促進」

2019 年度 保険者交流会の開催報告

去る、11月15日に7回目となる保険者交流会が開催されました。参加者は健診施設職員、保険者職員、賛助企業、総勢135名の方にご参加いただきました。健保組合数はこれまでで一番多い23保険組合から27名ものご参加をいただきました。お忙しいところ多数のご参加をいただきありがとうございました。

今回は「健診結果の電子化データ推進と質の向上を目指して」と題して、シンポジウム形式で開催致しました。健診機関、健康保険組合、仲介機関、日本医学健康管理評議会、日本人間ドック学会とそれぞれのお立場から5名の方にご登壇いただき、現状について講演をいただきました。

その後、シンポジウム形式で再度皆様に登壇いただき、意見交換を行いました。講演が盛りだくさんでシンポジウムのお時間が十分に取れなかったですが、その後の懇親会で引き続きご質問等をしていただきました。

今後も健診協会は健診・標準フォーマットの普及を推進していきますので、よろしくお願いいたします。



アルシエクリニック
院長 坂本嗣郎先生



すかいらーく G 健保
酒匂常務理事



労働保健協会 宮内理事



日本医師会総合政策研究機構
部長補佐 吉田様



日本人間ドック学会
副理事長 和田高士先生



去る、11月22日に6回目となる保険者交流会が開催されました。参加者は健診施設職員、保険者職員、賛助企業、総勢133名の方にご参加いただきました。お忙しいところたくさんご出席いただきありがとうございました。

前半では、健保組合向けのプログラムで、那須理事長からは5月に健保組合向けに行ったアンケート調査の結果の報告の発表をし、続いて協会が協力しているからだ健診ギフトカード事業の保険者向けのビジネスモデルの提案、最後に九州健診経営研究会の今年度の事業として行った九州沖縄地区における人間ドックのオプション検査項目のアンケート調査結果の発表を行いました。

第二部では座長を日本人間ドック学会副理事長の和田高士先生に、ご講演は国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野 プロジェクトリーダーであります落谷孝広先生に「一滴の血液 ～体液診断によるがんの早期発見～」と題してご講演をいただきました。施設も健保も賛助企業もみなさん個人的にも業界的にも大変興味のあるお話で、あっという間の1時間でした。近い将来、血液1滴でのがん検診が実現することですので引き続き動向に注目していきます。



すかいらーくグループ健保 常務 酒匂様

日本人間ドック学会 副理事長 和田先生

去る11月17日（金）に東京市ヶ谷のTKPカンファレンスセンターにて、開催されました。なるべく多くの保険者の方に参加いただけるように、今年度よりこの秋の時期としました。今回は当協会が事業協力としているからだ健診ギフトカードについての報告を凸版印刷から、メインの講演は、日本人間ドック学会施設機能評価委員長の野村幸史先生と、日本医師会の副会長の今村 聡先生にお願い致しました。参加者も過去最大の130名となり、懇親会も盛会のうちに終了致しました。

野村先生は「人間ドックを巡る動向ー健康寿命の延伸と包括医療・包括ケアの時代に臨んでー」と題して、人間ドック健診の現状、健診施設機能評価、健診団体連絡協議会について、幅広くご講演をいただきました。今後の人間ドック健診は、個人を対象ではなく職場や地域諸活動との連携によって達成していき、自助だけでなく、公助、共助、互助の考え方が重要であると締めくくられました。

今村先生からは「予防・健康づくりに向けた日本医師会の取組」ということで、特定健診の現状と今後、健診データの標準化、糖尿病腎症重症化予防への取組について、わかりやすく丁寧にご講演を賜りました。



<凸版印刷>

<野村 幸史先生>

<今村 聡先生>

<座長 土屋 敦先生>



去る1月27日（金）に平成28年度の保険者交流会が盛会のうちに終了致しました。
当日は健康保険組合の方々をご招待し、健診施設と賛助会員と総勢88名にご参加いただきました。

メインプログラムの最初には、日立健康管理センター 副センター長の中川 徹先生に「健康保険組合保険者が主導する 低線量肺がん CT 検診の推進ーがん医療費高騰化の荒波を乗り越えてー」と題しましてご講演をいただきました。職域の健康診断での肺がん検診の重要性について、日立グループでの研究や調査の結果を、データを用いてわかり易くご説明いただきました。肺がんCT検査だけでも様々な疾患や症状がわかることを聞き、改めてCTの有用性、必要性を理解しました。聴講者からも、画像などによる見える化の効果は高い、早速健診内容に追加するという一方、推進はしていきたいがコスト面や読影医師の問題など今後まだ課題も多いとの意見もありました。

続いて、公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所 ヘルスプロモーション研究センター長の中村 正和先生に「事業者・保険者と健診機関がコラボした禁煙推進」についてご講演をいただきました。

喫煙と様々な疾患のリスクや関連性、健診当日の短時間の禁煙介入の流れや効果について、また健康保険による禁煙治療（カウンセリングと薬物治療）の効果検証では、治療終了直後も9か月後も5回すべて受診した人は継続禁煙率が高い結果が出ており、一定の効果が期待できるのに禁煙治療を利用する割合は2割に満たない現状があり、事業者と保険者、健診機関のコラボで実施できる対策を推進していくことの重要性が説明されました。今後の禁煙率向上のためには薬物治療の充実と指導者教育（カウンセリングのスキルアップ）が求められているとのことでした。



平成27年度 保険者交流会

①組合健保担当者の人間ドック等に対する意識調査

NPO 法人日本人間ドック健診協会副理事長／特定医療法人財団博愛会理事長 那須 繁

②新しい対策型胃がん検診の問題点

NPO 法人日本人間ドック健診協会理事／医療法人社団同友会理事長 高谷 典秀

③“がん”で死ぬのはもったいない！ ～予防と早期発見が大切～

公益社団法人日本人間ドック学会理事／みはらライフケアクリニック院長 三原 修一

平成 26 年度 保険者交流会

平成 27 年 1 月 30 日(金) 参加者：145 名

①日本人間ドック学会 施設機能評価のご紹介

NPO 法人日本人間ドック健診協会副理事長／特定医療法人財団博愛会理事長 那須 繁

②健康保険組合健診事業の課題と今後 ～鍵はコラボヘルス～

(一社) 保険者機能を推進する会「健診事業のあり方研究会」サブリーダー
グラクソ・スミスクライン健康保険組合 事務長 平 敏征

③データヘルス時代の健診戦略

株式会社ミナケア 代表取締役 山本 雄士

平成 25 年度 懇親交流会

平成 26 年 1 月 30 日(木) 参加者：115 名

①日本人間ドック健診協会 活動の紹介

NPO 法人日本人間ドック健診協会副理事長／特定医療法人財団博愛会理事長 那須 繁

②健診を起点とした健康づくりの発展 ～政府戦略データヘルスの狙いから～

国立大学法人 東京大学 特任助教 古井 祐司

③理想的な健診を目指して

日本赤十字社 熊本健康管理センター 名誉所長 小山 和作